

# ケーブルテレビ事業(74億円)を当面凍結し 市民のくらしを守るため 全力をつくします

国民に痛みをおしつける小泉政治のもと、市民のくらしは大変です。新しく誕生する庄原市が、ケーブルテレビ事業(74億円)の凍結など大型建設事業の規模や優先順位を見直し、市民のくらしや福祉、教育を最優先するよう、みなさんと力をあわせ全力をつくします。

## ①くらしよい生活環境の整備を

ゴミ袋代金の引き下げ  
新聞紙など資源ゴミの無料定期収集  
周辺部の生活道の全線舗装  
飲料水確保(ポーリング)の助成増額  
上下水道区域の拡張

## ②高齢者にやさしい市政を

家族介護慰労金の継続と増額  
特別養護老人ホームの増床  
介護保険の利用制限の緩和、負担の軽減  
高齢者の働く場の確保

## ③安心して子どもを生ま育てられる環境を

産婦人科医の確保  
出産育児助成金の継続  
乳幼児(就学前)医療費の無料化継続  
保育料の軽減

## ④豊かな心をはぐくむ教育を

基礎的な生活習慣、基礎学力の重視  
暴力、いじめ、不登校の克服  
庄原小・中のゆとりある学級編成  
耐震診断に基づく庄原小・中の建替、  
中学校の給食開始

## ⑤地域農業の振興を

朝市(ゆめさくら)出荷手数料の助成  
地場の農産物を公共施設の給食に使用  
コメの輸入拡大、減反の押しつけを  
やめさせるとりくみ

## ⑥住宅リフォーム助成の創設を

市内の中小業者を支援するため、市民が工事費50万円以上の改造工事をした場合、工事費の10%(10万円を限度)を助成する制度の創設

## 市民の目線で活動する

### 日本共産党の議員

藤木くにあき議員は、議案に賛成するか、しないかは、「市民の利益になるか、ならないか」で判断しています。結果として、約7割の議案に賛成し、3割の議案に反対しています。

「なんでも反対する」「重箱の隅をつつくような質問をする」というのは、根拠のない中傷です。

多くの市民のみなさんが、「合併しても財政力はさらに弱くなり、行政サービスの低下、福祉の切り捨てが心配だ」と指摘されています。

こうしたときだからこそ、市民の目線で市政をみつめ、市民のみなさんの声を、まっすぐ市政に届ける議員が必要なのではないでしょうか。それができるのが日本共産党の議員です。

ひきつづき あたにかいい支援のほどよろしくお願いいたします。

### 藤木くにあきの

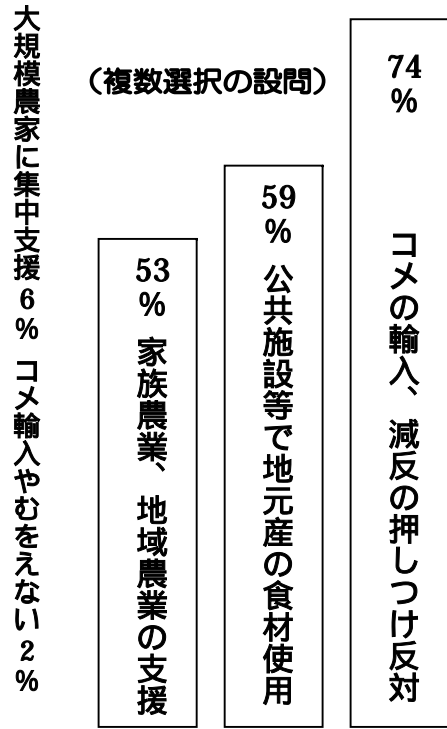
演説会にご参加ください

とき 3月26日(土)午後7時  
ところ 田園文化センター2階

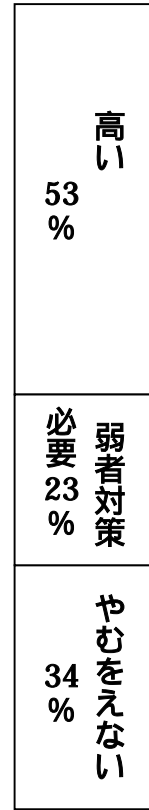
# 市政アンケート集約報告

市政アンケートにご協力いただきありがとうございました。お寄せいただいた ご意見、ご要望を市政に反映し、その実現にがんばります。ひきつづきあたたかいご支援を お願いいたします。

日本共産党 庄原市議会議員 藤木くにあき TEL ④1190 FAX ④0777

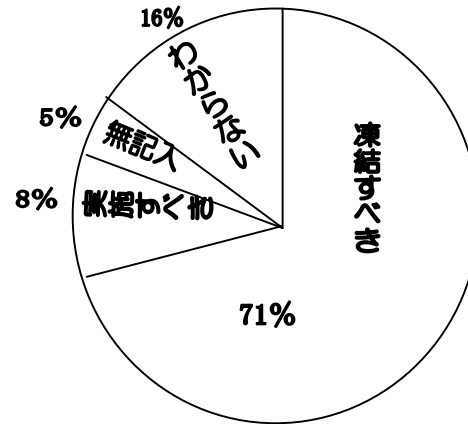


## 農業と食料のあり方は



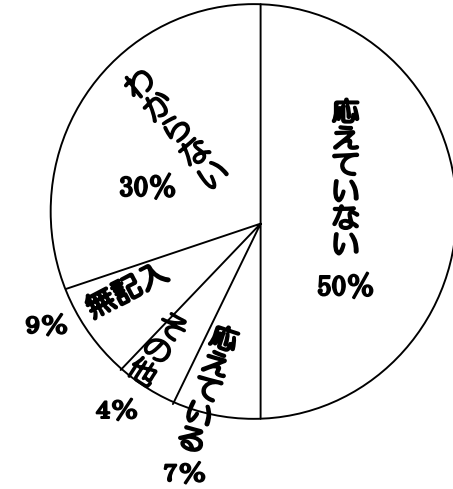
(複数回答あり)

## ケーブルテレビ事業 (74億円)



合併して心配ないとは  
64% 財政力が弱く、負担が増えサービスが低下する  
42% 面積が広大で、細かな対応ができにくくなる  
26% 住民の声が反映しにくくなる

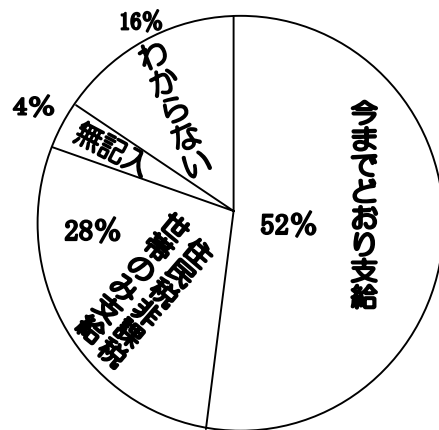
(複数選択の設問)



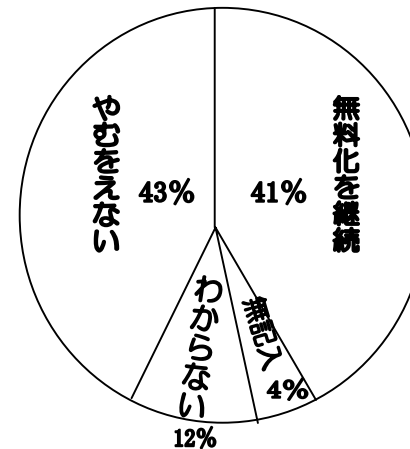
- 市の教育に必要な取組は
- 65% 基礎的な生活習慣、基礎学力を重視
  - 64% 暴力、いじめ、不登校の克服
  - 36% 国家、伝統、奉仕の精神を重んじる
  - 33% 庄原保・小・中のゆとりあるクラス編成
  - 27% 耐震診断に基づく庄原中学校の建替
  - 14% 庄原中学校の給食実施
  - 11% 小学校の統廃合
  - 10% 保護者会、PTA活動への支援
  - 10% 学校給食の民間委託

(複数選択の設問)

## 家族介護慰労金は



## 乳幼児医療費の一部負担は



(複数選択の設問)

